

環境にやさしいコンポスト・トイレ

微生物のチカラでコンポストにする

こまらんeトイレ40T3型



特徴1
微生物の力で分解

特徴2
便臭、尿臭を排気

特徴3
大小分離の便器

特徴4
設置工事が簡単

1 微生物が便をコンポストに



・土に近いのコンポスト基材を使います
ピートモス、バーミキュライト、そしてもみ殻くん炭の3種の基材をを攪拌槽に22リットルほど入れます。ホッカホカの基材の中の便は、微生物の働きで水分、二酸化炭素に分解され自然消滅します。

分解には、栄養源、水分、空気、微生物、温度、時間の条件が必要で、気温が高ければ、便自体の微生物で大丈夫です。低くなれば、促進剤として酵素剤を使用します。

基材と混ざった便は、消滅しますが、使用を続けると基材間が詰まってきます。使用状況によりませんが、100回程度で攪拌しずらくなります。新しい基材と交換します。

2 便だけを分解、臭いませ



・トイレ後部のファンで臭いを排出します
排気ファン(12V仕様、AC-Dアダプターが付属します)で攪拌槽に空気の供給と同時に臭い、水蒸気、二酸化炭素を排出します。100ボルト電源の場合、コンセントのAC-DCアダプターから12ボルト電源が使えます。

・大小分離の便器で便と尿を分けます
攪拌槽で便だけをコンポストにします。尿が入らないので効率よくコンポスト化します。尿は屋外の専用タンクで保存されます。また使用後、便器に少量の水を流すと、尿臭の発生は抑えられます。

尿分離式の便器で、便だけを効率よくコンポストにします

コンポストトイレ・こまらんトイレ40T3型

3 便器で便と尿を分けます



・ハンドルレバーで扉を開閉します
小便時は攪拌槽に尿が入らないよう、扉を閉めて用を足します。また、虫が入らないよう、使用後は扉を閉めておきます。

・攪拌槽で便だけをコンポストにします
便器で便と尿に分け、便だけが攪拌槽に入り、コンポスト基材の中で分解されます。尿は便器底が一段深くなった前部の穴から、一度、トイレケースの受け皿に入り、尿配管でトイレ本体後部に流れ、屋外のタンクに排出されます。

・尿はケース側面の配管で屋外へ



※屋外タンクへは配管工事が必要です。

・床下配管も可能です
・既存の便槽を尿専用タンクにする場合、また、床下の配管に繋ぐ場合、受け皿から、尿配管を床下に入れることもできます。



合同会社コンポスト技研

520-1121 滋賀県高島市勝野1451-2

お問合せ

☎ 0740-36-1295

携帯 080-1424-3981

ホームページ <https://www.comaran.com/>

メール comarancraft@gmail.com

尿分離式の便器で、便だけを効率よくコンポストにします

コンポストトイレ・こまらんeトイレ40T3型

4 排気管と尿排出管の設置方法



※トイレ後部に排気管を出す場合
排気用の塩ビ管を本体ケース後部から、壁を
通し屋外に出します。

※排気装置をトイレ本体に設置せず、外付け
の排気装置につなぐ場合、ダクトホースを差し
込みます。



トイレ側面から排気管を出す場合



※左手側面用の排気ボックスを付けた場合



※右手側面用の排気ボックスを付けた場合



合同会社コンポスト技研

520-1121 滋賀県高島市勝野1451-2

お問合せ

☎ 0740-36-1295

携帯 080-1424-3981

ホームページ <https://www.comaran.com/>

メール comarancraft@gmail.com

尿分離式の便器で、便だけを効率よくコンポストにします

コンポストトイレ・こまらんeトイレ40T3型

5 コンポストトイレの寒さ対策

コンポストトイレの弱点は寒さです。コンポスト内の温度が4、5度になると微生物の活動は止まります。寒さ対策が必要です。

- ・ 二重構造のトイレケースで保温
15ミリの保温材を本体ケースと内側ケース間に施工します



- ・ 攪拌槽を保温マットで加温
内側ケースに50ワットの保温マットを入れて攪拌層を加温します。
- ・ エアークッションなどで被覆します
夜間など、使用しない間はトイレに毛布等を掛けトイレが冷えないようにします。
- ・ 保温便座の熱源を利用します
便座の熱源50ワットを利用します。攪拌槽は排気ファンで常に空気が薄くなっていて、便座で温められた空気がコンポスト基材に入ります。
- ・ 促進剤を使用します
微生物の活動を酵素などの促進剤で補います。

6 温水洗浄便座の利点



- ・ 使用後、ウォシュレットを使うことで、便器が洗え、尿臭軽減に役立ちます。
- ・ トイレットペーパーの使用が少なく済みます。
- ・ 暖房便座としても使えます。
- ・ デメリットとしては、尿タンクに洗浄水が入りますので交換回数が増えます。コンポスト基材が水分過多になるとコンポスト化できなくなりますので管理が重要です。

※温水洗浄便座を使用される場合、少量の洗浄水が攪拌槽に入ります。コンポスト基材が水分過多にならないよう注意が必要です。

合同会社コンポスト技研

520-1121 滋賀県高島市勝野1451-2

お問合せ

☎ 0740-36-1295

携帯 080-1424-3981

ホームページ <https://www.comaran.com/>

メール comarancraft@gmail.com

尿分離式の便器で、便だけを効率よくコンポストにします

コンポストトイレ・こまらんeトイレ40T3型

7 40T3型の攪拌器です

・30L3型の攪拌器は横向きですので、座ったまま攪拌ハンドルが回せます。攪拌ハンドルをセットする際、壁との間に20センチ程度の余裕が必要です。



・コンポスト基材が後ろ側に偏ってくれば、また、回すのが重たくなれば、攪拌槽を180度スイングしてしお使いください。重たさが変わらない場合、基材の替え時です。

8 尿タンクが内蔵、直ぐに使えます。

・尿配管の工事が不要のため、届いたときから、そして非常用としても直ぐに使えます。



※ 3リットルタンクが2個付属します。

40T2型の標準仕様価格； **165,000円**

※標準仕様は普通便座が付きます。

排気装置はオプションです。

※大きさは、奥行き65センチ、横幅45センチ、便座までの高さ46センチ前後です。

※便座等、仕様によって価格が異なります。お客様のご要望等をお聞きし、見積させていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

合同会社コンポス技研

〒 520-1121 滋賀県高島市勝野1451-2

お問合せ

☎ 0740-36-1295

携帯 080-1424-3981

ホームページ <https://www.comaran.com/>

メール comarancraft@gmail.com